岡山空襲 フィールドワークのご案内

◆日時
10月19日（木）14時～17時（予定）

◆内容
岡山市役所に集合し、徒歩で岡山市中心部の戦跡めぐりを行います。

◆主催　青年育成委員会

※詳細は岡山県民医連事務局にお問い合わせください。

おかやま民医連

MIN-IREN

発　行
岡山県民主医療機関連合会
岡山市北区下伊福西町1-53
岡山県民主会館３Ｆ
TEL（086）214-3911
2023年８月号　No.364
URL:http://www.okayama-min-iren.org

楽しく交流！岡山県連ジャンボリーを行いました。

みんなで備前焼体験

参加者の声

①対面での参加は初めてでした。職場に同年代の方があまりいないので、歳の近い方達と普段話せない話をしたり交流することができ、参加して良かったと思いました。

②初めてジャンボリーの活動に参加させていただき、貴重な時間を過ごすことができました。陶芸も完成が待ち遠しいです。

筆者の感想

イベントに参加して、日頃関わる機会が少ない職種の方と楽しい時間を共有することができました。備前焼作りはシンプルに難しいと感じましたが、職人さんのサポートもあり、楽しかったです。

さいごに

この体験を通じて、職種を超えて交流をすることができました。日常業務の中での悩みや相談を他業種の方へ話すことができる環境は、他にはない特別な場所だと感じました。

草地　海翔
（岡山医療生協）

ご紹介

今回の協力店舗「夢幻庵備前焼工房」

豊かな自然に抱かれた広大な敷地の中、陶芸体験ができます。ヒダスキは、炎のような赤い線模様が浮かぶことが特徴。自由度の高い手びねりで、オリジナルの備前焼を作ることができます。

核兵器のない世界を求める声を大きく 平和行進2023

7月16日から26日までの11日間、岡山県内を歩きました。

酷暑・コロナ対策で短時間のコースになりましたが、全国通し行進、コールや歌で声を出しながらの行進が復活。おうちで平和行進もあわせて多くの職員が参加しました。

5月のG7広島サミットで、核兵器禁止条約に触れず核廃絶への本気度が見えない広島ビジョンが出され、日本政府と核保有国への不信が募りました。6月に閉会した通常国会では軍事費倍増のための財源確保法が可決され、十分な説明なく戦争の準備が進められる危機感を感じました。核兵器のない平和な世界を求める声をさらに大きくする意味をかみしめ、歩きました。

（岡山県民医連事務局　大坂　圭子）

点滴

先日G7広島サミットが開催された。サミットは7か国の経済大国首脳が集まり、国際政治・経済・環境・安全保障などを議論し、合意形成するために定期的に開催される。▼今回は岸田首相の出身地でもある広島での開催。核兵器禁止条約が議論され、核廃絶に向けた大きな意義のあるサミットとなる事が期待された。▼原爆資料館の視察、原爆被爆者の体験や証言を伝える機会もあり、核兵器の人道的な影響を改めて強調し、核廃絶への意識を高める役割を果たすことは出来た。▼しかし、核廃絶に向け具体的な進展や合意は得られず、逆に核抑止力に依存した会議になってしまった。▼開催地では、警察官を二万人以上も動員し、市民は一週間以上も立ち入りが制限された。多大なる迷惑をかけられた結果がこれだと思うと残念だ。▼米国のバイデン大統領は「世界から核兵器を最終的かつ永久になくせる日に向けて共に進もう」と、英国のスナク首相は「広島と長崎の人々の恐怖と苦しみはどんな言葉でも表現できない。しかし、私たちが言えるのは二度と繰り返してはならないということだ」と、資料館の芳名帳にメッセージを残した。▼サミットをお祭り騒ぎで終わらせてはならない。各国の首脳が広島で見聞きした事を忘れず、自国に帰ってからも平和や非核運動を盛り上げてくれることに期待したい。（K）

2023年度 第1回新人薬剤師研修会

7月1日（土）、岡山国際交流センターにて新人薬剤師研修会が開催されました。新人参加者は、岡山5人＋地協7人。「副作用モニター委員会」及び「新薬評価委員会」の活動について「何故このような委員会があるのか」「どのような視点に立ち物事を捉えていくべきなのか」を学びました。また、「新薬評価委員会」の講義ではグループに分かれて新薬の有効性などを話し合い、自分たちにはなかった新たな視点を取り入れることが出来てよかったです。

今回の研修で学んだことをしっかりと現場で活かし、患者様に必要とされる薬剤師を目指していきたいと思います。

高見　愛花
森安　裕香
（虹いろ薬局本店）

新薬評価グループワークの様子

グループワーク後の発表の様子

食材支援ご協力のお願い

コロナ禍が始まって以来、おかやま医系学生サポートセンターではバイトなどが無くなり生活に苦しむ医系学生さんのために食材支援を開催中です。

2021年2月に始まったこの取り組みは今までに20回以上行われ、170名の医学生と193名の歯学生、その他看護学生などを合わせて約500名の学生さんがサポートセンターを訪れています。

食材を受け取った学生さんからは「沢山いただくことができて嬉しかった。支えていただいていると感じたので勉強に対するモチベーションが上がった」「大学生へのサポートとして善意の心で活動していて本当にすごいと感動しました。自分もそうなりたいと思いました」といった多くの嬉しい声をいただいています。

学生さんへ渡す食材は、岡山県民医連に加盟している病院や専門学校の職員・組合員からの寄付とカンパで賄われています。また、食材支援のことを知った民医連外の医師からも食材の提供をいただいています。いろいろな方からご協力をいただいていますが、学生さんからの需要の高さにはまだまだ追いついていないのが現状です。

今後の開催は9月26日（火）と10月21日（土）です。「学生さんを応援したい！」とご協力いただける方がいましたら各病院の医学生委員、または県連の医学生担当者までご連絡ください。

吉田　幸奈
（県連事務局）

生活雑貨も助かります

みんなでおいしくいただきました

多くの方々の善意に感謝

ケアハウスあかね恒例外出行事！「平和七夕まつり」！

平和七夕まつりは、1945年（昭和20年）6月29日の岡山大空襲や戦争で亡くなられた方々の鎮魂と二度と戦争が無い平和な世の中になるようにとの思いで始まった活動です。医療・福祉事業所や学校等、様々な団体が鶴を折り、岡山の表町商店街に飾っています。今年は6月19日から1か月開催されました。

岡山中央福祉会も毎年参加し、あかねでは見学と商店街の散策が恒例行事です。「いろんな折り鶴があるんじゃなぁ」「綺麗じゃな」「平和と書いてあるな。もう戦争はいけんよ」「仲良くせんとなぁ」といった入居者様のいろいろな感想があり、充実した外出行事となりました。

安田　友祐
（ケアハウスあかね）

皆さん元気に平和を祈りました

食いしん坊が行く！ ～黒ひげのせっかくグルメ～

私は鰻や穴子が大好きです。もし「バナナマンのせっかくグルメ」に出演したら『くりはら』というニンニクより山椒!!『くりはら』は私を笑顔にしてくれる「ご褒美的飯屋」です。ここは開店前から行列になり、予約はできないそうです。メニューは定番で、うな丼セットには肝吸いや白焼き付きの豪華なものもあります。

私にとって鰻や穴子は「食の中で最も元気になれるご褒美飯」です。肉も好きですが、肉より鰻や穴子！頻回に行く感覚ではないのですが、ここぞという時には『くりはら』です。

（※穴子はないのですみません）

夏にかけて鰻を食べて、元気を維持していきたいと思います。バテ気味の方、ぜひ一度ご賞味ください。

黒ひげ
（林道倫精神科神経科病院）

6月号読者カードより

新入職員の方のメッセージを見て、色々あると思いますが、先輩方を頼って頑張ってほしいなと思いました。収穫体験が好きなのですが、ほうれん草狩りは初めて知りました。民医連の他事業所の取り組みがわかって勉強になります。　K・Y（岡山協立病院）

とても春らしい紙面で、新人さんFight～!と思いました。顔が見えるのはいいですね!クラリネットを私もしているので、バスクラも弾ける亀山さんはすごいなと思いました。大坂さんのサグカレーも美味しそう!仕事外の素敵な様子が知れて楽しかったです。　れもん（林道倫精神科神経科病院）

亀山事務長のクラリネットいいですね。コロナ禍で、子供の頃に習っていたピアノを弾きたい！と思ったものの楽譜が読めなくなっています…。4歳からやったのに（笑）
ぽち（林道倫精神科神経科病院）

亀山さんのクラリネット、何度か聴いたことがありますがいつも素敵です。イベントでぜひ披露してほしいです。　K・M（水島歯科診療所）